

LIEBHERR

設置マニュアル

Installation Manual

アンダーカウンター ビルトインワインキャビネット UWpr 3662 Vinidor Selection

最新版マニュアルのダウンロードはこちら



- 人への危害、財産の損害を防止するため、本書に記載されている事項を必ずお守りください。
- 設置・および施工において、本書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。
- お客様による設置工事は危険です。建物を傷めたり、ケガの恐れがあります。
据付・設置は必ずお買い求めの販売店までご依頼ください。

- 本手順書では、人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 設置および施工において、本手順書に従わなかったために生じた故障・事故などについて当社は責任を負いかねます。

誤った使い方をしたときに生じる内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。



「死亡や重傷を負うおそれがある」内容です。

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある」内容です。

お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



- 交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で専用に設けてください。
- 電源プラグ周辺のほこりなどは定期的に取り除いてください。
- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。
- 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜いてください。
- 長期間使用しないときやお手入れの際は、必ず電源コードを抜いてください。
- 異常・故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。



- 濡れた手で、電源プラグに触らないでください。
- 電源プラグを、冷蔵庫の背面で押し付けないでください。
- 電源プラグやコードを破損するようなことはしないでください。
- 本体や電源コードに水をかけないでください。
- 冷蔵庫の周囲は、必ず必要な放熱スペースを守ってください。
- 冷蔵庫の上には、絶対にものを置かないでください。
- 延長コードを使用しての設置はお控えください。
- 本製品は一般家庭専用です。業務用、或いは屋外や戸外でのご使用はお控えください。



アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

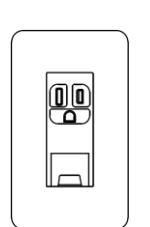
設置スペースと電源に関する注意

設置について

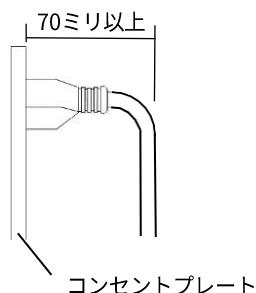
- 本機器はキッチンキャビネットへのビルトイン専用です。
- 機器を設置する床面と機器前面の床面は、必ず水平・同レベルに仕上げてください。

一次側電源コンセント

1. 定格15A以上、単相100Vの専用回路を設けてください。
2. アースターミナル付接地コンセントを設けてください。
3. 一次側コンセントは必ず接地コンセント(3P)をご用意ください。



パナソニック電工
品番：WN1131（相当品）



コンセントプレート

注意

- 本機器の周辺適用外気温（室温）：10°C ~ 43°C
- 機器は、暖房・温熱器具等からの熱気や直射日光の当たらない場所、湿気が少なく風通しの良い場所に設置してください。
- 通気が悪く湿気の高い設置環境では、機器の表面に結露が発生することがあります。
- 電源コンセントは、機器の仕様、定格電流にあったものをご用意ください。
- 昇圧トランスの仕様を参照の上、設置スペースをご用意ください。
- アース（接地）・漏電遮断機を必ず取り付けてください。

同梱物



ブラケット×2



高さ調節ボルト×1



高さ調整ボルト用アタッチメント×1



ベースパネル固定用ラッチ×2

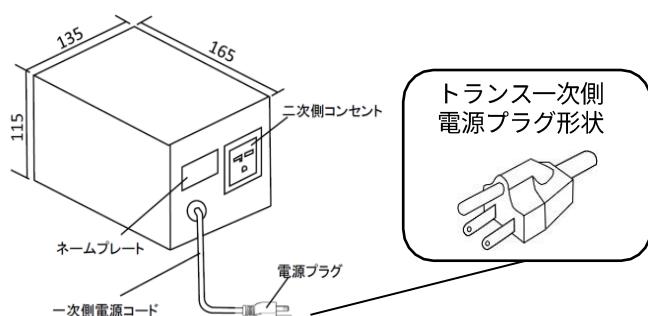


ねじ×10



ドア材固定金具ネジカバー×2

昇圧トランス

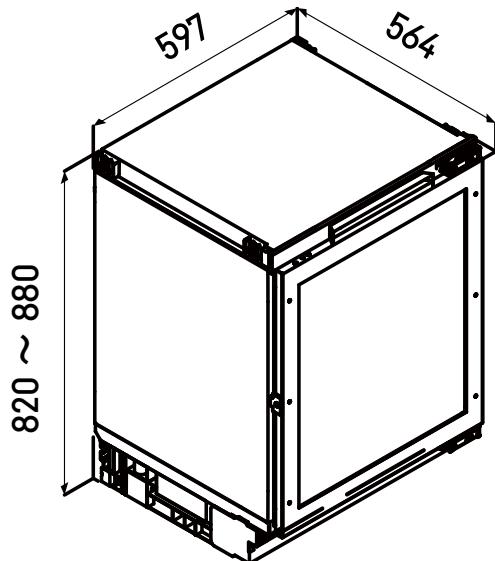


【100V → 220-240V 昇圧トランス仕様】

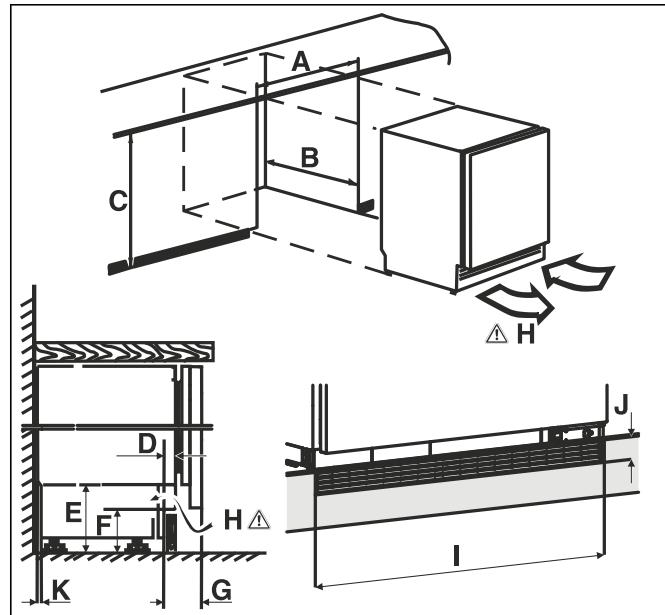
- 外形寸法 (W x D x H) : 135×165×115 mm
- コード長さ : 1.7m
- 定格容量 : 600VA
- 入力 : 単相100V・50/60Hz

機器の設置

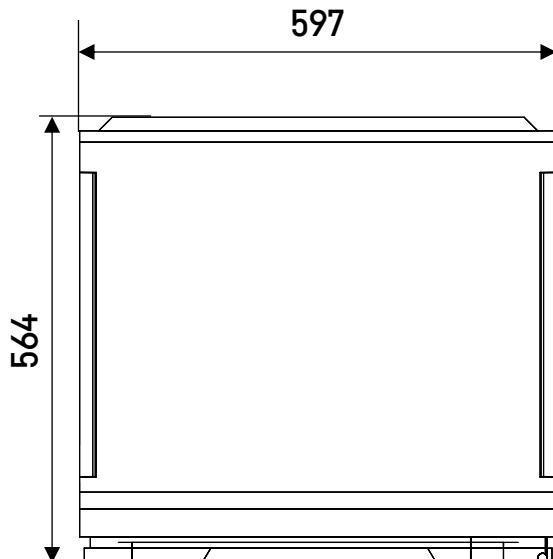
製品本体寸法（縦横高さ）



設置時の有効寸法



製品本体寸法（天面図）



A	600mm	
B	min. 580mm	(ドア材min. 16mmの場合)
C	820mm ~ 880mm	(機器脚部分で高さ調節可)
D	11mm ~ 66mm	(給気グリル前後調節可)
E	100mm ~ 160mm	(機器脚部分で高さ調節可)
F	60mm ~ 120mm	(機器脚部分で高さ調節可)
G	45mm ~ 100mm	(給気グリル前後調節可)
H	150cm ² ※	
I	600mm	
J	40mm	
K	35mm	

※給気グリルは絶対に塞がないでください。
冷却性能の低下・機器の破損の原因となります。

機器の設置

設置開口スペースについて

トラブルや機器へのダメージを防ぐため、次の事項を必ずお守りください。

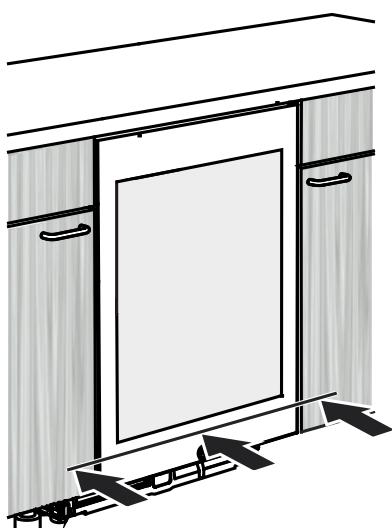
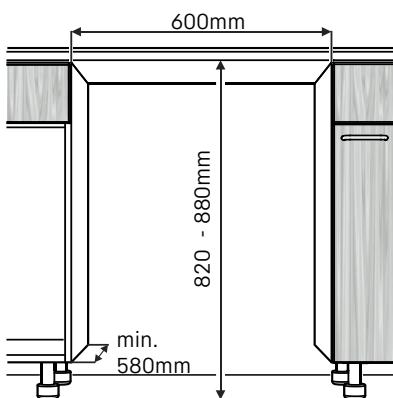
1. 機器を設置する床面は水平で、その前面部とは同一面（フラット）にしてください。
2. キッチンユニットが水平で垂直であることを確認してください。

使用工具

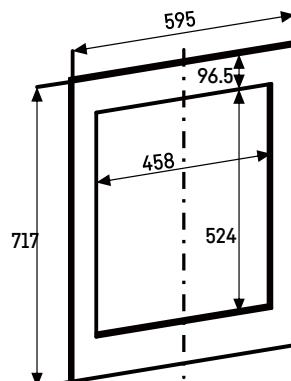


注意

電源コンセントを機器の背面には設けないでください。容易にプラグを抜き差しできる場所に設けてください。



機器の水平の調整方法



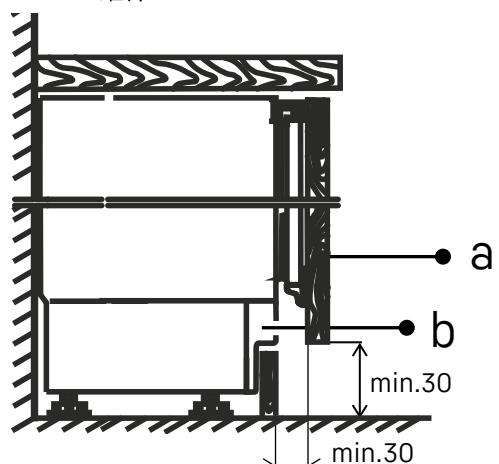
ドアの造作について

- ドア材の厚みは16 - 19mmの範囲内で設計してください。
- ドア材の許容重量：10kg
- ドア材の設計ワイド寸法：ドア材のクリアランス（目地）を最小4mm確保してください。
- ドア材製作時は、内側の切込み寸法を上記の W458×H524mmより小さくしてください。
- 設置時はキャビネットとドア材の干渉の有無を確認し、必要に応じてドア材の調整を行ってください。

注意

ドア材で機器本体のガラス面を全て覆ってしまうと結露が生じますので、必ずガラス面を露出させた設計にしてください。

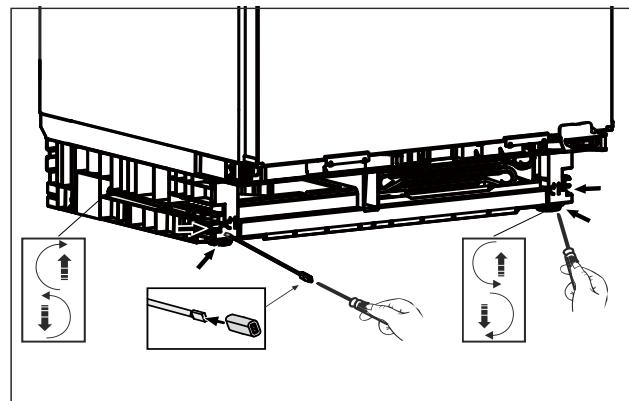
給排気スペースの確保



- 「a」のドア材の下端は、床面よりmin. 30ミリのクリアランスを取ってください。
- 巾木材は「b」のプリンスパネルに貼り付け、巾木材表面とドア材の裏面の距離は必ずmin. 30ミリのクリアランスを取ってください。

機器の設置

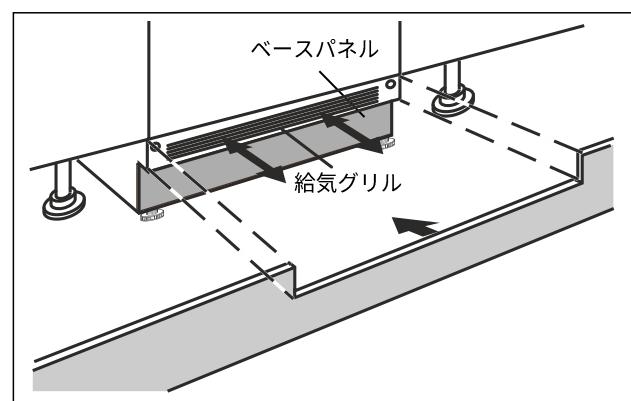
機器の水平の調整方法



- **調整脚（前側）：**
マイナスドライバーを調整脚の溝に差し込み、左右に回転させ、機器の高さを調整します。
(右回転：下降 左回転：上昇)
- **調整脚（後側）：**
高さ調整ボルトにアタッチメントを取り付け、トルクスを差し込みます。
その状態で矢印方向にボルトを差し込み、左右に回転させ、機器の高さを調整します。
(右回転：上昇 左回転：下降)
- 水平器で確認を行いながら、本体が水平になるよう調整してください。

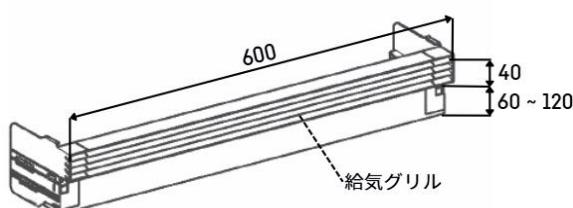
- 高さ調整ボルトとアタッチメントは、機器の調整やメンテナンスで必要になりますので**必ず保管してください**。

巾木材の取り付けについて

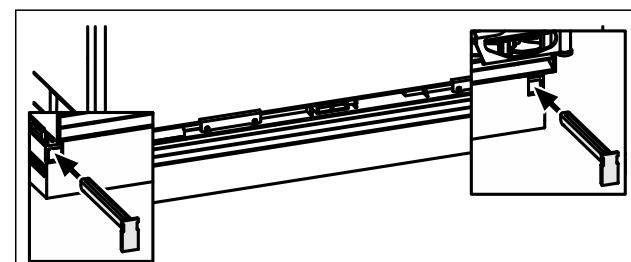


- 本体ドアと巾木を仮設置して製品の収まりを確認します。
- ベースパネル部分が見える場合は、巾木の位置を前後に適宜調整してください。
- 巾木が給気グリルに干渉していないことを確認してください。(干渉している場合は巾木をカットして調整してください。)

給気グリルについて



- 本機器は、製品本体前面に給気グリルが装着されています。
- 巾木材は製品幅600ミリ、本体設置床部分から給気グリル下面の高さ60~120ミリにあわせて作成してください。



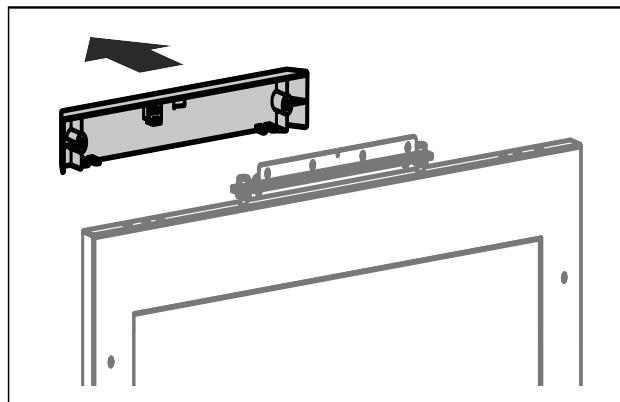
- 本体ベースパネルを固定します。
- ベースパネルを押さえながら固定用ラッチを差し込んで本体ベースパネルを固定してください。

!**注意**

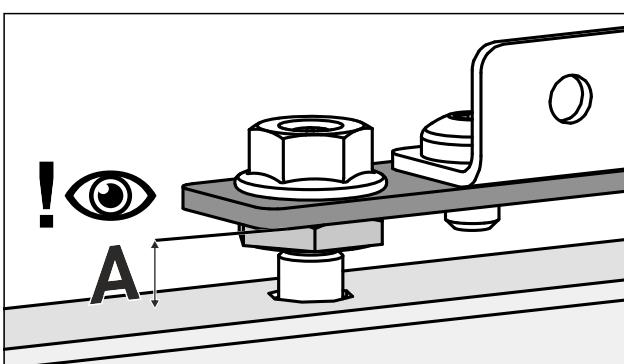
給気グリルは絶対に塞がないでください。
冷却性能の低下・機器の損傷の原因となります。

機器の設置

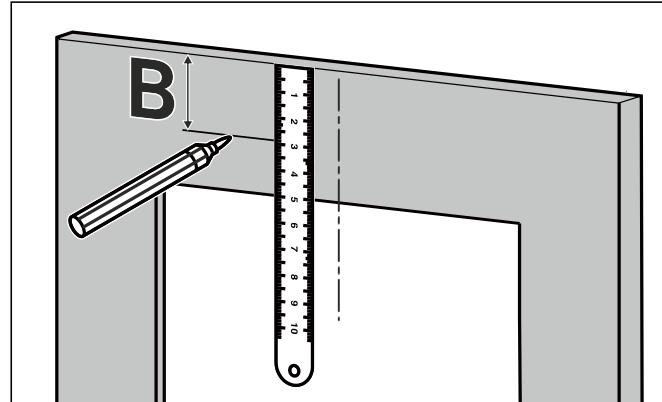
ドア材の取り付け方法



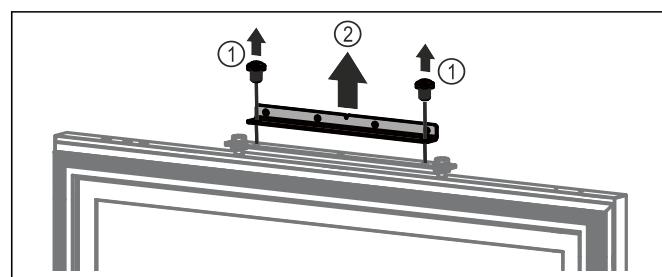
- 機器ドア上部の金具カバーを取り外します。



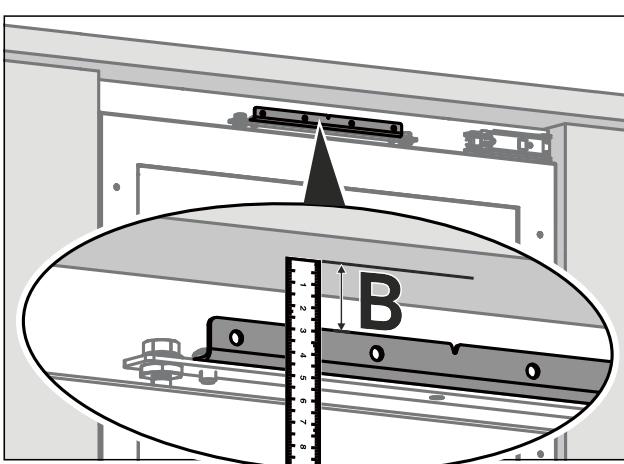
- 事前にドア上面と取付金具下端までの寸法 A が 10mm確保されていることを確認してください。
- 必要に応じて上下3ミリずつの調整が可能です。



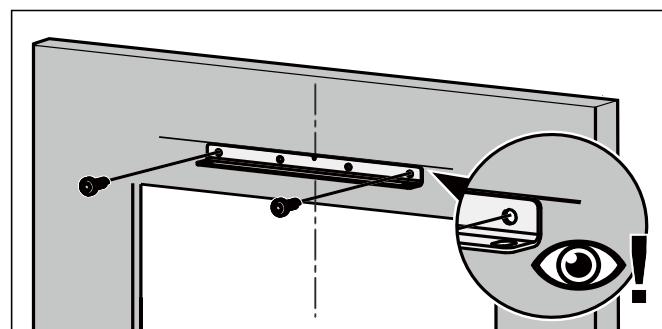
- ドア材裏面にドア材の中心と B の寸法位置をマーキングします。



- ①のネジを取り外します。
- ②の取付金具を取り外します。

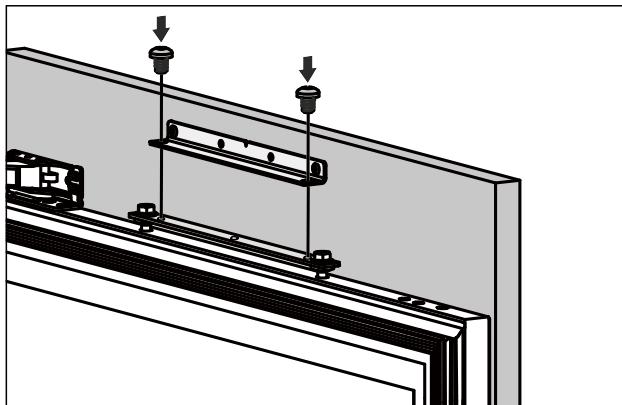


- B (ドア材上端の位置からドア材取付金具の上端まで) の距離を計測します。

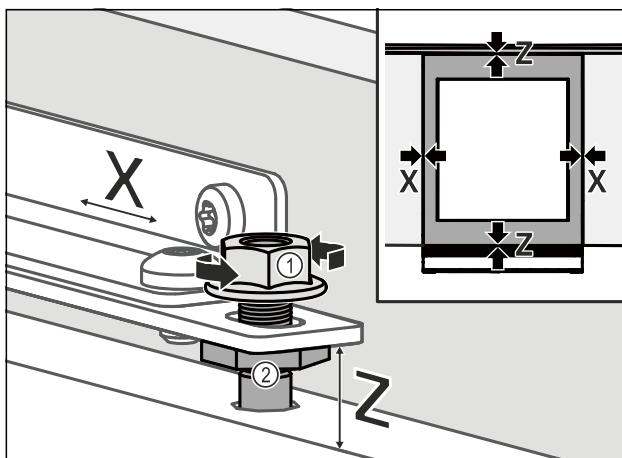


- 取り外した取付金具をドア材のマーキング部分に合わせて、ネジで固定します。

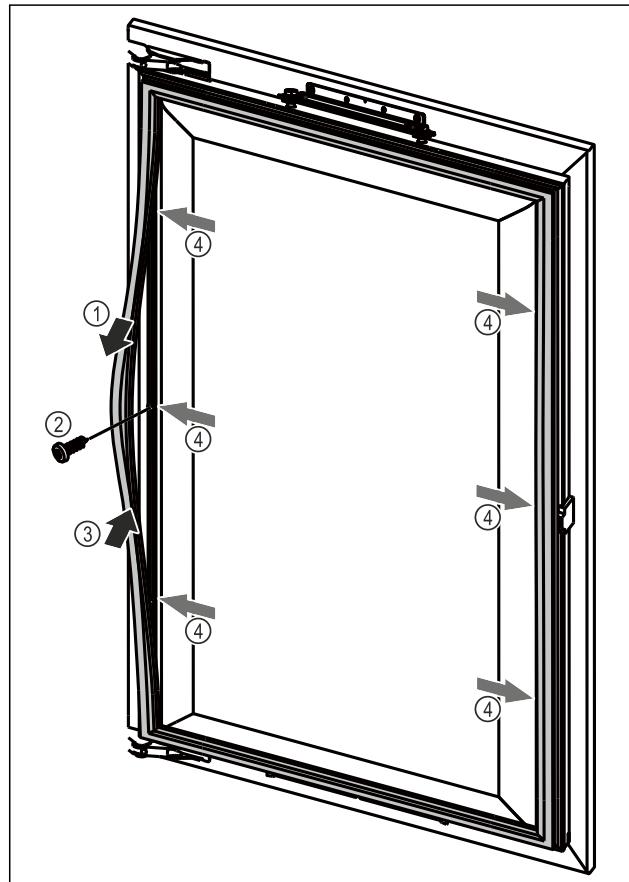
機器の設置



- 取付金具の穴を本体ドアに合わせてください。



- ドアの位置とドア材の位置を確認します。
- ①のナットを緩めて取付金具を動かし、ドア材の左右方向（X）の位置を調整します。
- ②のナットを動かし、ドア材の上下方向（Z）の位置を調整します。
- ②のナット調整後は、①のナットを必ず締めて固定してください。
- 周囲のキャビネットとのクリアランスが均一になるように調整し、①のナットをしっかりと締めて取付金具を固定します。

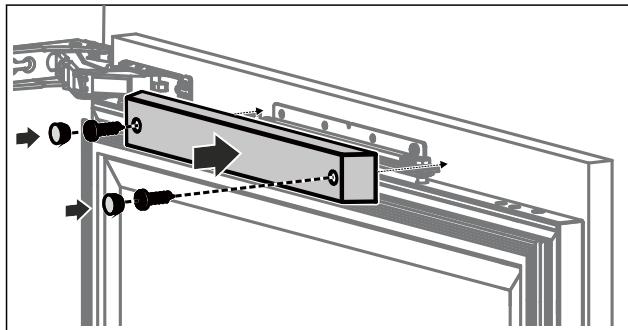


- ドアパッキンを外して、裏側からドア材をビス留めしてください（①）。
- ④のネジ穴全てを②のビスで留めます。
- ビス留めが終わったら、必ずパッキンを押し込んで元に戻してください（③）。

!**注意**

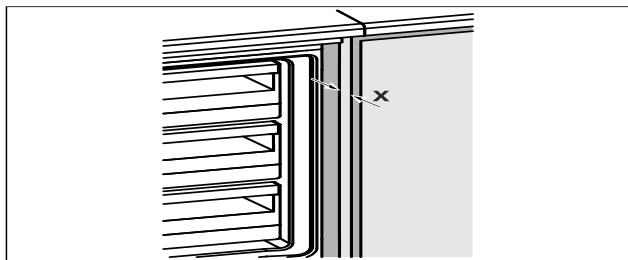
ドアパッキンを外す際はパッキンを引っ張らずに少しづつ手を添えて取り外してください。パッキンに過度な力が加わるとパッキンが裂けたり、穴が空いて結露等の原因となるおそれがあります。

機器の設置



- 機器ドアの上部金具カバーを取り付け、ネジで固定します。
- ネジの頭に付属のネジカバーを取り付けます。

機器の設置位置（奥行き）について

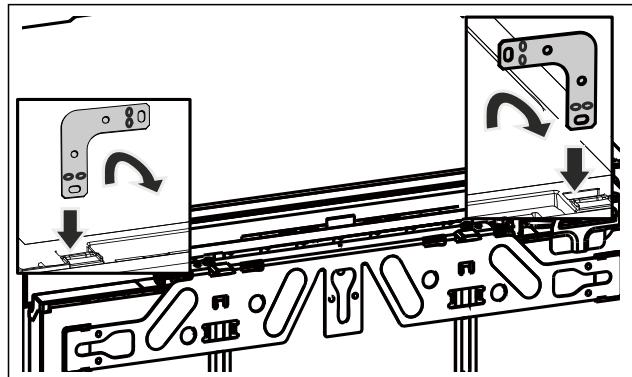


- 機器本体ドアとキャビネット木口の干渉を防ぐために、機器本体の設置位置（奥行き）は、本体ドアを開いた状態で、機器の両側板木口面から機器本体前面までの距離Xが左右ともに41.5mmになるように調整してください。

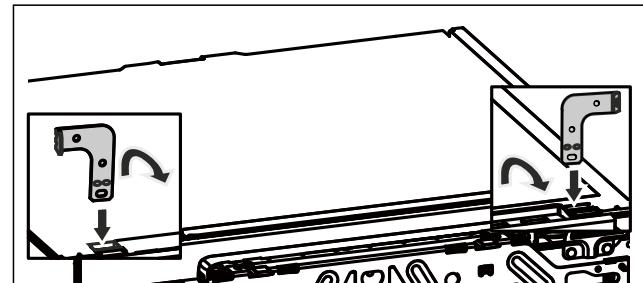
機器の設置

キャビネットへの取付

上部固定の場合

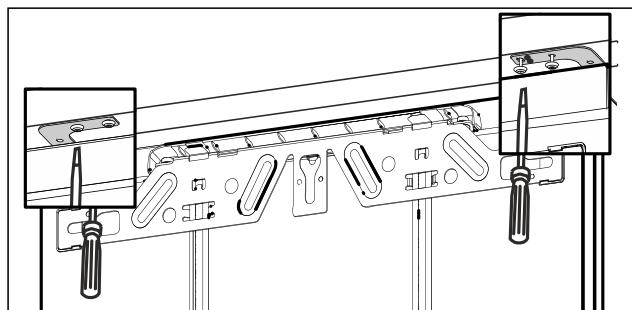


側面固定の場合

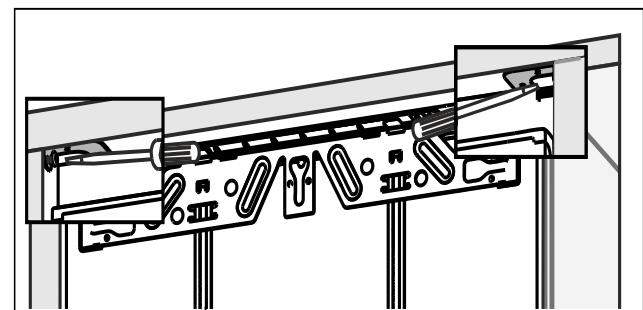


- 付属のブラケットを図のように機器上面のホルダーに奥まで差し込み、手前に曲げてください。

- ブラケットの片側を曲げてください。曲げなかった方を図のように機器上面のホルダーに奥まで差し込んでから手前に曲げてください。



- 折り曲げたブラケットとキャビネット天面をビス留めしてください。



- 折り曲げたブラケットとキャビネット側面をビス留めしてください。

ドア吊元の交換

安全上の注意

- ドアの取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアヒンジの交換は、必ず専門の業者に依頼してください。
- ドアにはガラスを使用しています。破損や落下には十分ご注意ください。

使用工具

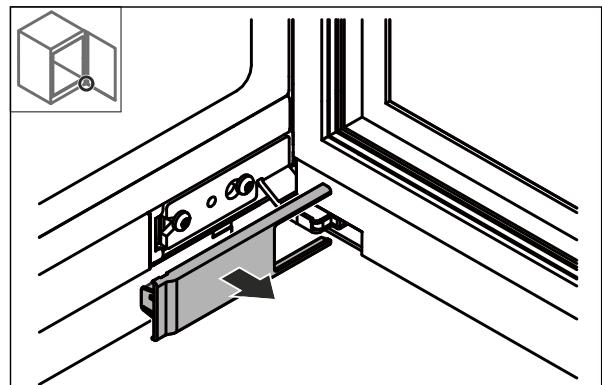


図3

- 機器側下部の吊元側のカバーを取り外します。

1. 吊元カバーの取り外し

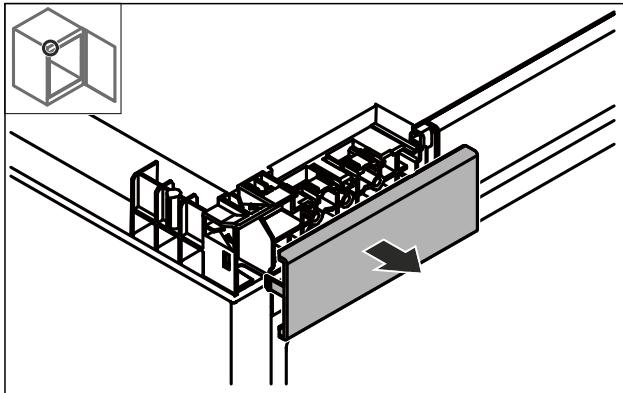


図1

- ドアを開き、機器側上部の戸先側のカバーを取り外します。

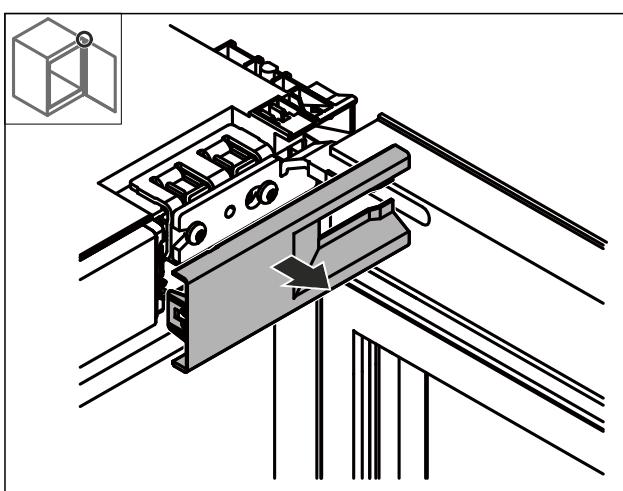


図2

- 反対側上部の吊元側カバーも取り外します。

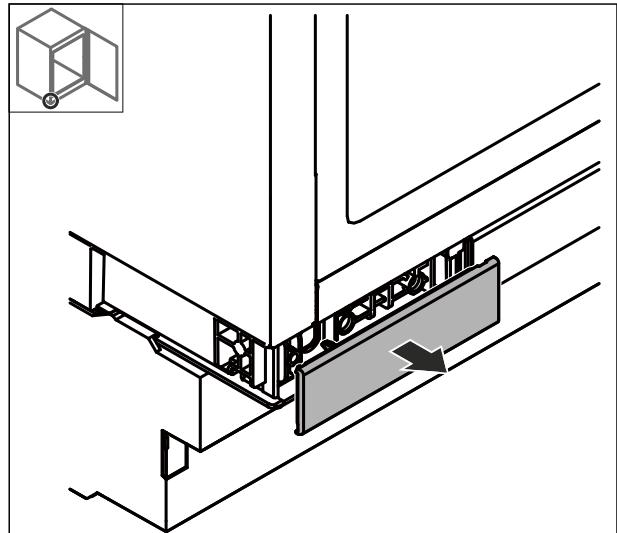


図4

- 反対側下部の戸先側カバーも取り外します。

ドア吊元の交換

2. ドアの取り外し

!**注意**

扉が倒れると怪我の恐れがあります。必ず扉をしっかりと支えながら取り外してください。

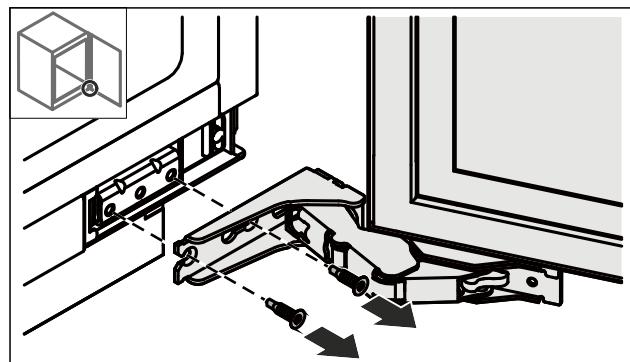


図5

- 機器下部のヒンジのネジを緩めて取り外します。

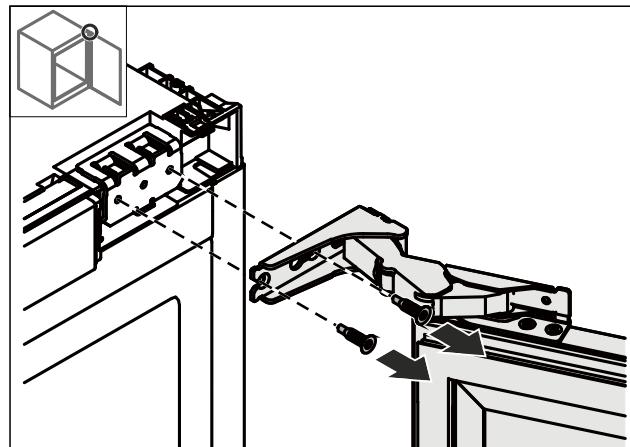


図6

- 機器上側のヒンジのネジを緩め、取り外します。
- ドアを慎重に取り外します。

3. ヒンジの取り外し

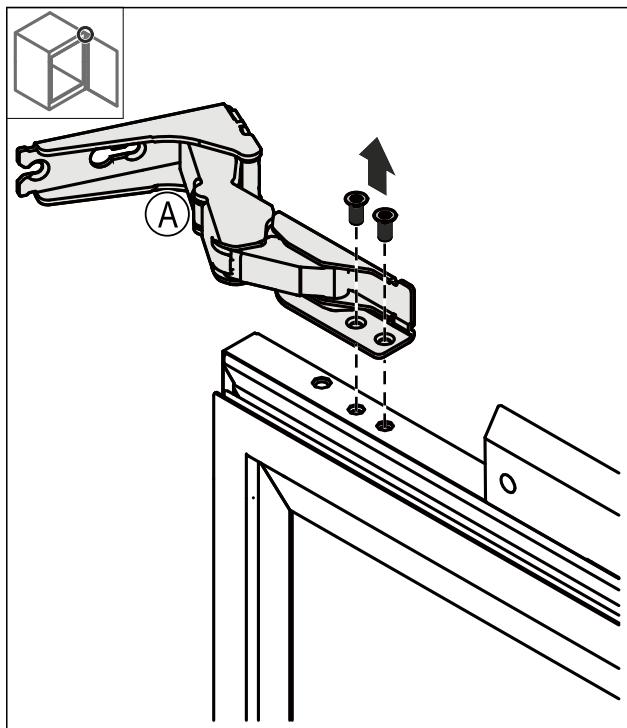


図7

- ドア上部のヒンジ固定ボルトを緩めて取り外します。
- ドア上側のヒンジ A を取り外します。

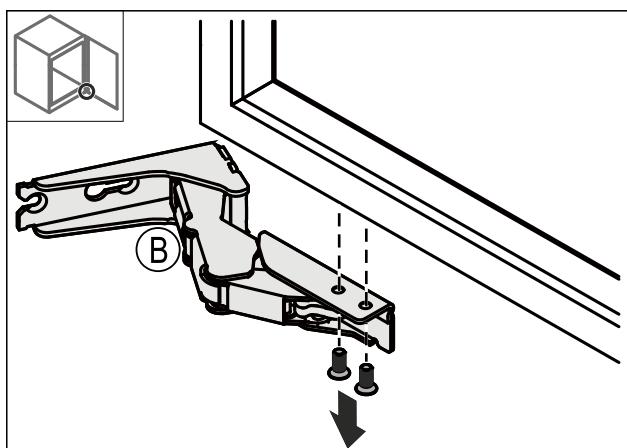


図8

- ドア下部のヒンジ固定ボルトを緩めて取り外します。
- ドア下側のヒンジ B を取り外します。

ドア吊元の交換

4. ドアストッパーの付け替え

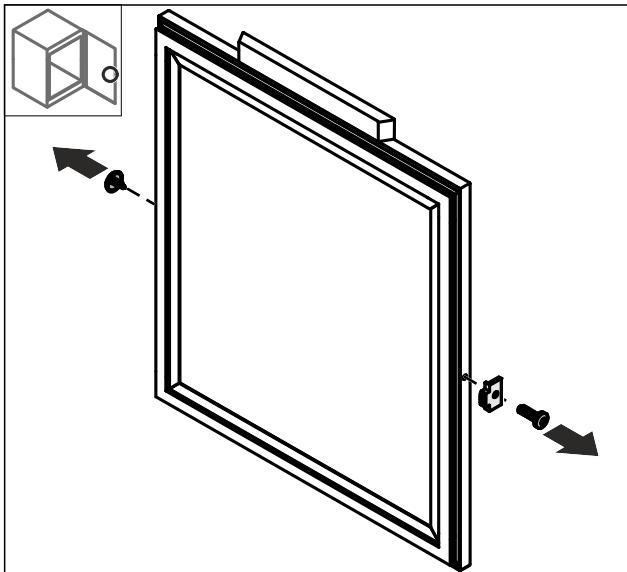


図9

- ネジを緩めて取り外し、ドアストッパーを取り外します。
- 反対側のねじ穴カバーを取り外します。

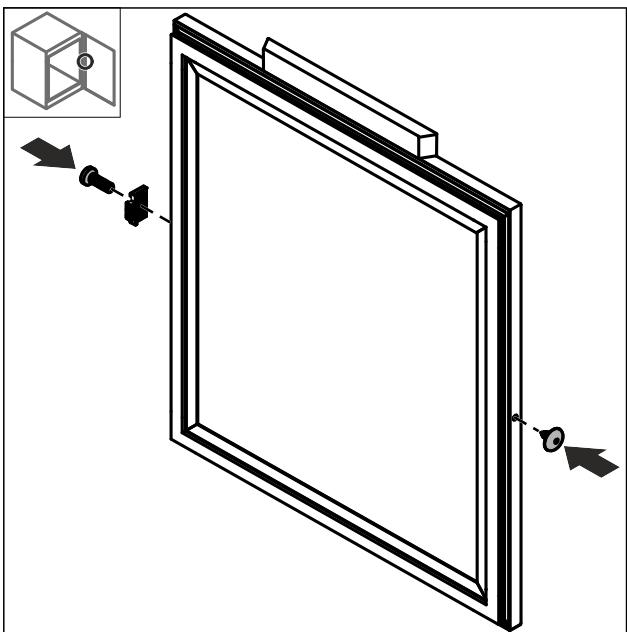


図10

- ドアストッパーを180°回転させ、新しい戸先側に取り付け、ネジで固定します。
- ねじ穴カバーを吊元側に取り付けます。

5. ヒンジの付け替え

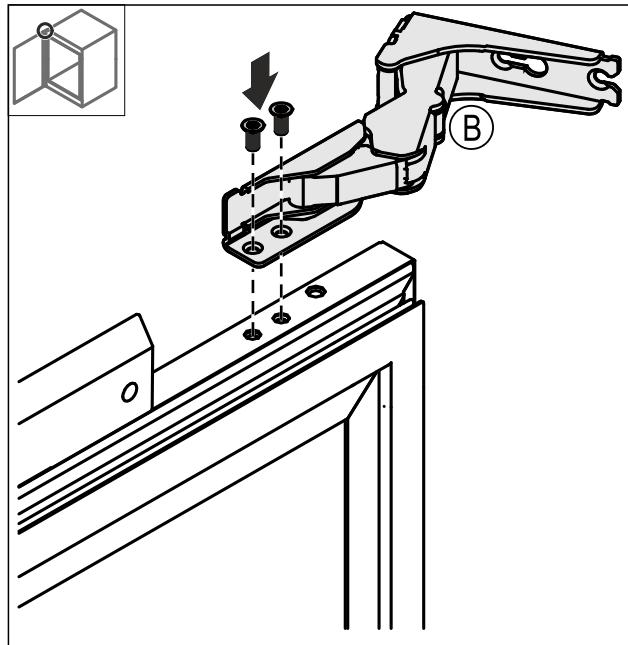


図11

- 図8で取り外したヒンジ B をドア上側に取り付けます。

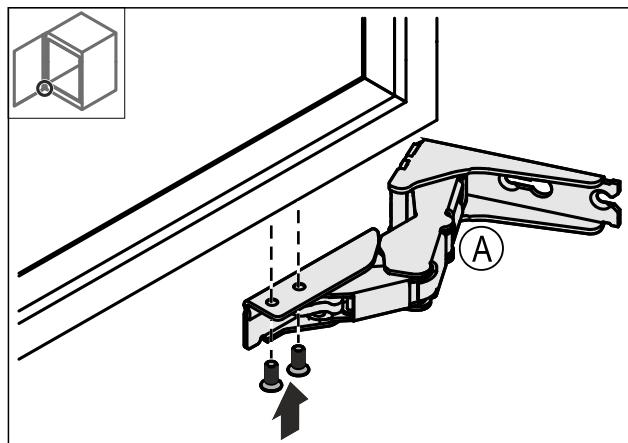


図12

- 図7で取り外したヒンジ A をドア下側に取り付けます。

ドア吊元の交換

6. 上部ブラケットの付け替え

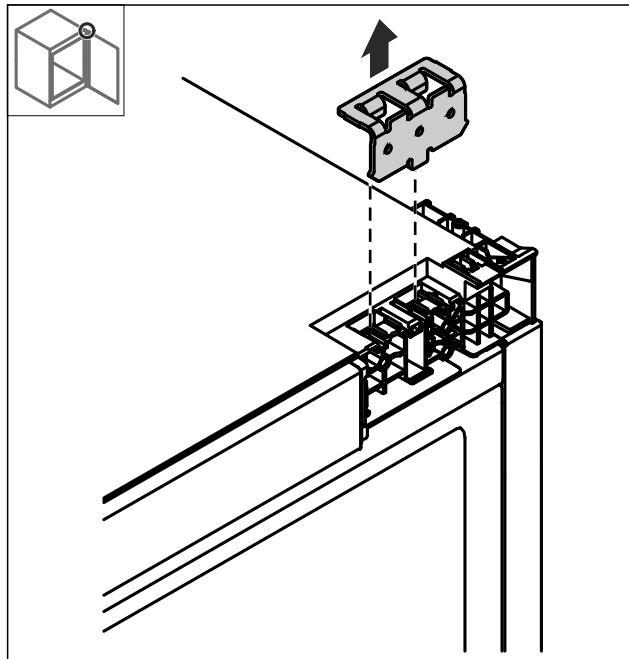


図13

7. 下部ブラケットの付け替え

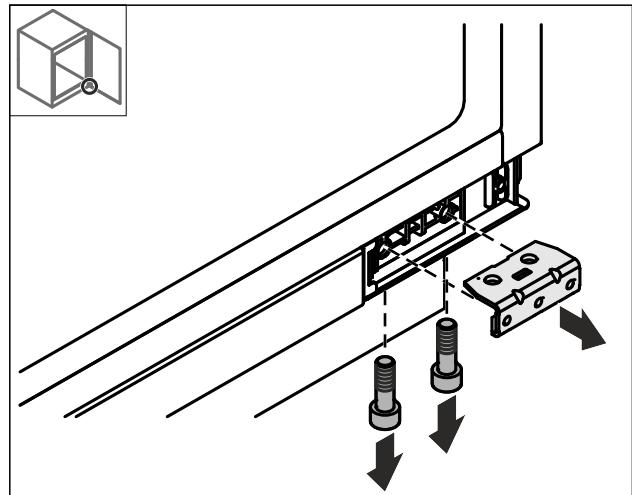


図15

- ネジを取り外し、機器側下部のブラケットを取り外します。

- 機器側上部のブラケットをマイナスドライバーを使用して取り外します。

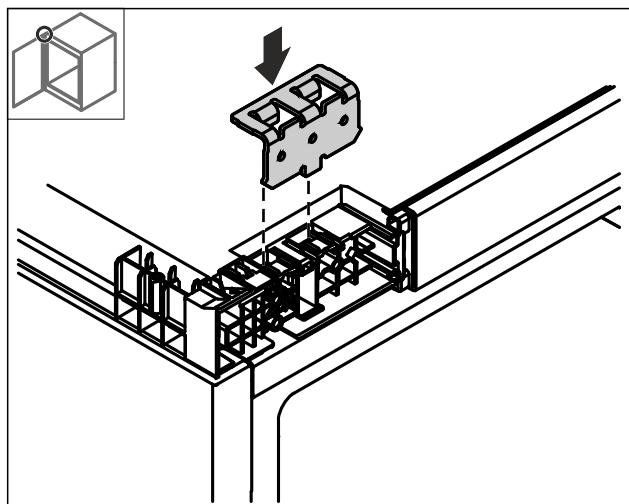


図14

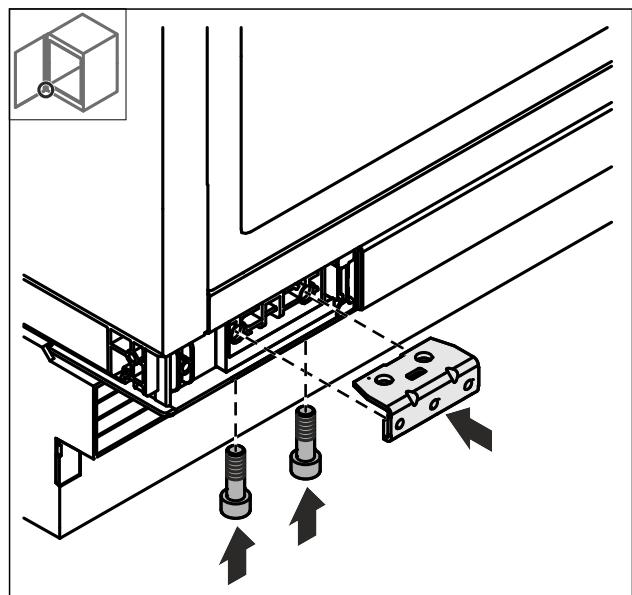


図16

- 図13で取り外した上部ブラケットを反対側に差し込みます。

- 図15で取り外した下部ブラケットを反対側に差し込み、ネジで固定します。

ドア吊元の交換

8. ドアの取り付け

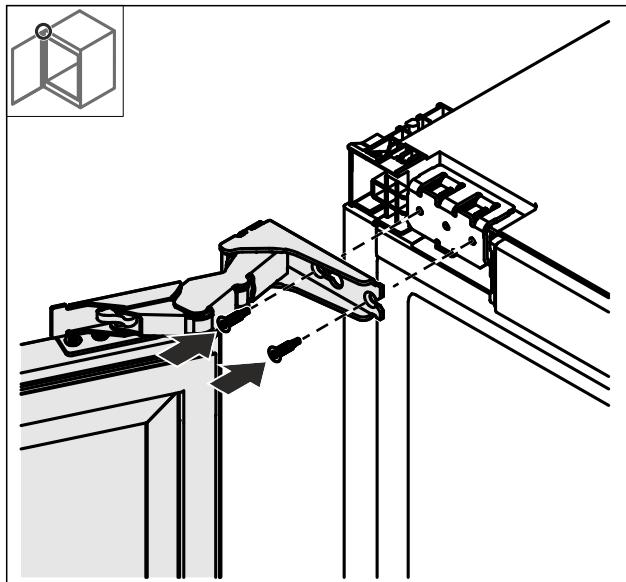


図17

- ヒンジを交換したドアを本体にあてがい、上側のネジを仮留めします。

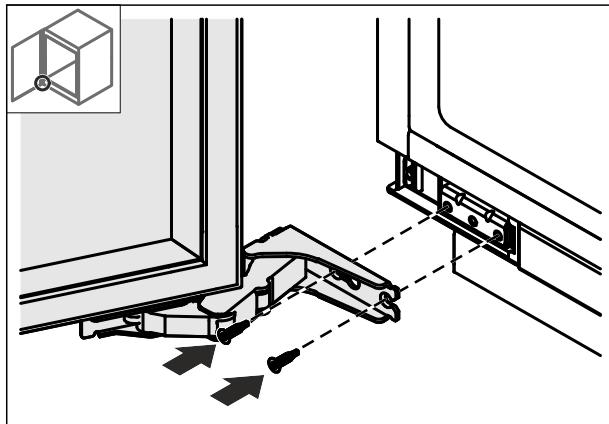


図18

- ドア下側もヒンジ固定金具にあてがい、ネジを仮留めします。
- ドア上下のヒンジの位置が揃っていることを確認し、上下のヒンジ固定ネジをしっかりと締めてヒンジを固定します。

! 注意

- ドアの取り付けが正しく行われないと、けがの恐れがあります。
- ドアにはガラスを使用しています。破損や落下には十分ご注意ください。

9. 吊元カバーの取り付け

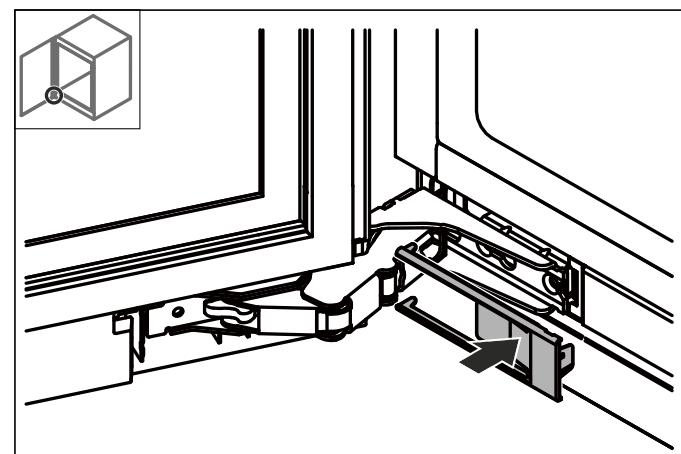


図19

- 図2で取り外したカバーを180°回転させ、機器上部の吊元側に取り付けます。

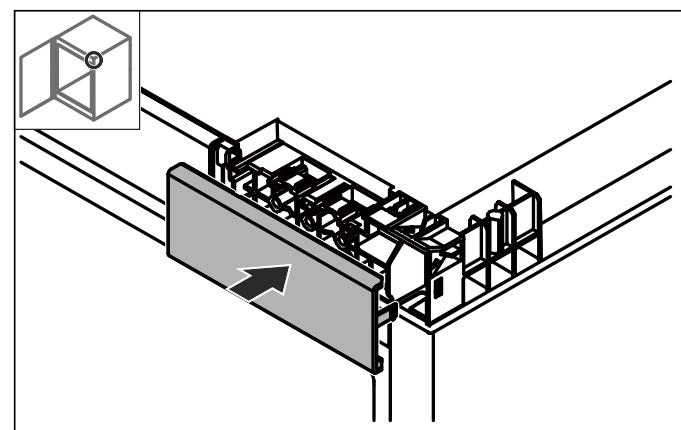


図20

- 図1で取り外したカバーを180°回転させ、機器上部の戸先側に取り付けます。

ドア吊元の交換

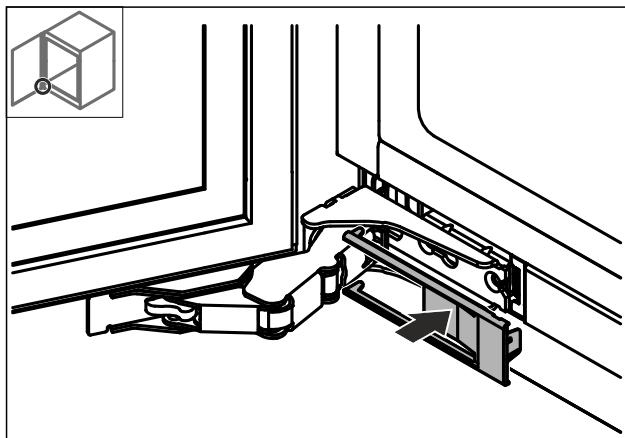


図21

- 図3で取り外したカバーを180°回転させ、機器下部の吊元側に取り付けます。

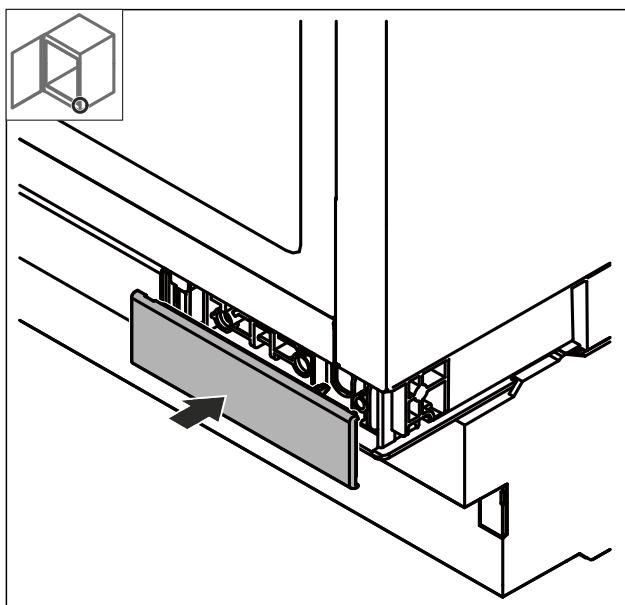


図22

- 図4で取り外したカバーを180°回転させ、機器下部の戸先側に取り付けます。

- ドイツLIEBHERR社は品質・性能向上のため絶えず改良を重ねております。
- 機器の仕様は予告なしに仕様が変更されることがありますので、あらかじめご了承ください。

01101125

インタックSPS株式会社

〒104-0061
東京都中央区銀座7-13-5 NREG銀座ビル5F
TEL: 03-6264-2970 FAX: 03-6264-2973
E-mail: info@intac-sps.co.jp
Web: www.intac-sps.co.jp

＜お問い合わせ フリーダイヤル＞



0120-915-546

【受付時間】

9:30～17:30 (土日・祝日・夏期・年末年始の休業期間を除く)